

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

特定非営利活動法人 高浜南部まちづくり協議会

第17回 通常総会

ふれあい農園グループ

南部保育園の
子ども達と農園で
パチリ!!



盛り上げ隊



フードドライブ開催!!

チャレンジド支援グループ



イルミネーションの前でダンス♪



日時 令和4年5月29日(日) 18:30~

場所 高浜市南部第2ふれあいプラザ

〒444-1322

愛知県高浜市二池町1-8-5

高浜南部まちづくり協議会

TEL 0566-52-2123

特定非営利活動法人 高浜南部まちづくり協議会

第 17 回 通常総会次第

1 開会のことば

2 理事長あいさつ

3 議 事

第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告の承認について

第 2 号議案 令和 3 年度 収支決算の承認について

第 3 号議案 令和 4 年度 事業計画（案）の承認について

第 4 号議案 令和 4 年度 収支予算（案）の承認について

第 5 号議案 定款変更（案）について

第 6 号議案 令和 4 年度 理事・監事選任（案）について

4 来賓あいさつ

高浜市長

吉岡初浩 様

愛知県議会議員

杉浦孝成 様

高浜市議会議長

鈴木勝彦 様

5 来賓紹介

6 閉会のことば

1. 事業実施の方針

高浜南部まちづくり協議会は、高浜市立港小学校区内の住民や各種団体が互いに協力し、住民相互の連帯感と自治意識の向上を図り、高齢者、チャレンジド(障がい者)、子どもたちを始め、すべての住民が共に支えあい、やすらぎとふれあいのある心豊かな地域共生のまちづくりを目的とする事が設立の理念として示されています。

令和3年度の活動を総括的に振り返ると地域活動の原点である実行、行動が制約され、推進方策などでは十分な対策が不足しました。その点が今後の課題として残りました。

2. 事業の実施に関する事項

ア チャレンジドの自立支援に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
地域美化活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの地域共生の理解度向上を更に定着するため、プラザ周辺の美化活動を実施した。 ・草刈り、花苗、消耗品等 ・参加者 12回×25名=300名	30,305
就労体験活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの就労支援に向け、プラザ駐車場や階段・トイレの清掃活動を通して就労実習・就労体験を実施した。 ・お茶代、消耗品等 ・参加者 12ヶ月×21日×7名=1,764名	184,800
施設等見学会														先進的事例施設等の視察研修を行い、取り組み状況からスキルアップを目指したがコロナで中止となった。	0
チャレンジド能力向上活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの能力向上を目的として、実習活動を実施した。 ・実習活動用消耗品等 ・参加者 12回×10名=120名	140,974
自立した施設運営や就労支援のスタッフ研修				*								*	*	自立した施設運営や就労支援強化に向け、スタッフを対象にした研修会へ参加した。 ・受講料、講師料、宿泊費、交通費 ・参加者 3回 = 6名	13,000
チャレンジドの「働く」を通じたまちづくり事業						*			*				*	チャレンジドの「働く」につながる体験を積み重ねていくためパン教室を実施した。 〈チャレンジドパン教室〉 ・参加者 4回 24名 ――― 〈保護者支援に関する事業(のりカフェ)〉 ・講師謝礼、事務費等 ・参加者 2回 12名	26,756
地域の方々とチャレンジドの共生事業								*	*	*				チャレンジドの地域交流事業の実施に向けて周知活動及び交流会のポッチャ大会がコロナで中止となった。 ――― チャレンジドの職域を広げるための研究。 ・講師料、粘土材料代 ・参加者 3回×30名=90名	12,530
行事回数: 288回 参加人員: 2,316名														408,365	

イ 介護予防に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
健康体操	8回/月					*		*	*	*	*			講師による介護予防体操と健康講話を継続した。 ・講師謝礼、器具補充等 ・参加者 46回×11名=506名	150,080
男のレシピ研究会	*					*		*	*	*				調理を通して参加者のふれあい交流を深めた。 ・器具補助等 ・参加者 5回×9名=45名	44,363
認知症サポーター養成講座										*	*			健康体操参加者対象に認知症サポーター養成講座を実施した。 ・啓発用資料、消耗品等 ・参加者 2回×16名=32名	1,766
宅老所訪問による介護予防活動	*				*			*	*	*			*	宅老所利用者に対し介護予防のために食事支援した。 ・消耗品等 ・参加者 6回 150名	0
要援護者支援 (H30年度より地域の防災防犯に関する事業から移行)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	声かけ、見守り地域活動の重点展開を行った。また、区内の要支援者を調査し、有事の際の要支援者の人数、位置、支援内容の把握に利用した。 ・調査、訪問活動、消耗品等 ・対象者9回×15名=135名	177,230
生涯現役のまちづくり活動	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	生涯現役のまちづくり活動事業として、青空市等において活動メニューを実施した。 ・資料、調査、消耗品等 ・参加者 120回×10名=1,200名	15,992
行事回数: 188回 参加人員: 2,068名														389,431	

ウ 子どもの健全育成に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
子どもの居場所づくり	360日開放			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	就学前の児童の遊び場や親同士の交流を推進し、子育て支援の場を整備、提供した。 ・環境整備等 (コミュニティスペース・談話室)	23,219
親向け講座	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*	*	ストレッチ体操を継続した。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 22回×8名=176名	74,940
子ども向け講座				*								*		習字講座、アロマ講座を実施した。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 4回 35名	40,700
季節特別講座										*				子育て支援用獅子舞を作成した。 ・消耗品等 ・1回	880
親子ふれあい講座				*	*									竹細工で昆虫を作成し親子向け講座を実施した。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 2回×6名=12名	3,490
ものづくり講座														凧作りなど、ものづくり講座はコロナで中止した。	0
子どもの健全育成活動補助	*													地域の団体と協働で健全育成に対し支援を図った。 ・啓蒙活動品、消耗品等 ・支援団体 キッズクラブ、ラビットホース、おやじの会	130,000
青少年の非行防止活動					*									リーダー研修会、勉強会を実施した。 参加者 1回×100名=100名	150,000
子どもの明るい未来を支援する活動	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	子どもの健全育成に関する活動に参画した。 ①「ステップJr」の学習項目支援(ものづくり等4回=40人) ②「ステップ」の昼食支援(4回=120人) ③夕食支援の継続(20回=690人) (子ども食堂)	0
行事回数: 58回 参加人員: 1,173名														423,229	

エ 地域の防災防犯に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
個別防災訓練														親子を対象に体験型の防災訓練を継続しての実施はコロナで中止した。	0
総合防災訓練														総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図る事はコロナで中止した。	0
防災倉庫管理							*					*		港小学校、南中学校の資機材倉庫内機材の管理及び試運転等を行った。 ・2ヶ所(港小学校・南中学校) ・参加者 2回×2ヶ所×3名=12名	107,317
3町内会防災力向上勉強会						*								3町内会毎に、理事及び班長を対象に防災勉強会を開催したり、南部第2ふれあいプラザにて避難所運営、クロスロードゲームを対象に防災訓練を行う事はコロナで中止したが啓発プレートを購入した。	111,360
青色防犯パトロール	4回/週	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	青色回転灯装備車による防犯パトロールを継続した。毎週木曜日は昼の時間帯にてパトロールを実施した。 ・ガソリン代、車輛整備点検等 ・参加者 300名 週4回(140回/年)	249,111
子どもの安全見守り		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	下校時や夜間の見回り「子ども110番の家」との連携などを行った。 ・啓発用資料、消耗品等 ・のぼり交換等 2回 15名 ・パトロール等 48回 96名 ・下校時見守り 130回×2ヶ所×1名=260名	318,382
防犯灯管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	港小学校区内の防犯灯の球切れの取り次ぎや修理依頼などを行った。 ・修理、球交換等	229,628
														行事回数: 322回 参加人員: 683名	1,015,798

オ 公共施設の管理等に関する事業

オー① 公園管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
公園定期管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	碧海公園、洲崎公園、外淵公園の定期清掃と管理を行った。 ・修理、消耗品、謝礼チケット等 ・1~2回/月×10名×12ヶ月×3公園 ≒540名 計63回	1,058,562
町内の公園まつり盛り上げ														公園まつりで地域コミュニケーション広場の活用を支援はコロナで中止した。	0
稗田川堤防環境管理							*			*	*			稗田川堤防の論地橋から外淵橋までの二池町側堤防の草刈等環境維持管理をした。 ・参加者 3回 =34名	15,716
行事回数: 66回 参加人員: 574名														1,074,278	

オー② ふれあい福祉農園管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
ふれあい福祉農園管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	南部保育園の園児と共に農園管理を行い高齢者と幼児のふれあいの場を作った。 <圃場整備と日々管理> 水やり、草取り、追肥、作物の手入れ ・5、11月 耕運、漉込み(堆肥、石灰、肥料)、燃料 ・4~3月 除草、追肥、水やり等 ・参加者 12ヶ月×4回×2名=96名	14,499
			*	*										<植付け>種、苗他 ・5月 ミニトマト、ナス ・6月 薩摩芋、落花生 ・参加者 2回×5名=10名	
						*	*	*						<収穫> ・7、8月(ナス、ミニトマト) 2回×10名=20名 ・10月 (薩摩芋、落花生) 2回×30名=60名	
行事回数: 54回 参加人員: 186名														14,499	

オー③ プラザ、第2ふれあいプラザ

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
事務管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	事務業務の精度向上を意識し運営をした。 ・保険、租税公課、会議費、事務消耗品等	203,702
事務活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	リモートでの視察対応、広報活動等を行った。 ・行政他、連絡・調整(講習、見学対応) ・各事業サポート、会議費等 ・広報グループ費用(写真、印刷)等	
施設管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・事務、人件費(プラザ管理人:6人、第2管理人:6人) ・設備点検、清掃、メンテナンス、光熱費、保険等	13,896,072
運営活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・放課後の子どもの居場所提供 ・各種会議への会場提供	3,000
プラザ利用者 2,920人 第2利用者 9,674人															
合計														14,102,774	

オー④ 図書・体育館鍵管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
図書管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・本の入替 3回/年、読書啓発、蔵書の整理	0
体育館鍵管理		*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	・港小学校施設開放の施設鍵管理	275,000
合 計														275,000	

オー⑤ まち協事務管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
事業管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	事務業務の精度向上による運営の効率化。 ・保険、租税公課、会議費、事務消耗品等	3,755,077
事務局活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	TAF-netの発行を含め広報の強化。 ・行政他、連絡・調整(講習、見学、取材対応) ・各事業サポート、会議費等 ・広報グループ費用(写真、印刷)等	28,172
合 計														3,783,249	

カ 地域資源活用事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額	
地域資源活用活動									*	*				地域資源の魅力を理解し、活用を図り地域の活性化を目指した。 川まつり、シルバーフェスタ、第27プラザ文化展等はコロナで中止、イルミネーション点灯は実施した。 50日点灯 参加者 45人	10,973	
		*							*	*				文化、伝統伝えたい活動 コロナで中止した	0	
				*	*	*			*	*		*	*	かわらパーク製作維持(洲崎公園内) ・材料、機械借用、その他 ・参加者 7回×1名=7名	12,914	
															豆まき祭はコロナで中止した	0
		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	コミュニティビジネス(小規模土木工事) 12件 ・資材、器械借用費、その他 30人	73,706
生涯教育活動 (社会教育推進事業)		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	まちづくりの見地から、社会教育活動を考え、南部第2ふれあいプラザをその実現の場として有効活用した。 ・参加者 12回/年 120名	737,804	
行事回数: 81回 参加人員: 202名														835,397		

第2号議案

令和3年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人高浜南部まちづくり協議会
(単位:円)

資金収支の部

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 経常収入の部				
1 事業収入	14,504,000	14,306,827	△ 197,173	
1)介護予防に関する事業収入	20,000	25,500	5,500	参加者負担金
2)子どもの健全育成に関する事業収入	40,000	17,600	△ 22,400	参加者負担金
3)地域の防災・防犯に関する事業収入	10,000	0	△ 10,000	参加者負担金
4)公共施設の管理等に関する事業収入	14,234,000	14,184,000	△ 50,000	南部ふれあいプラザおよび第2プラザ管理受託収入14,034,000円、 港小体育館鍵管理収入150,000円
5)コミュニティービジネス収入	200,000	72,727	△ 127,273	
6)第2プラザ		7,000	7,000	参加者負担金
2 補助金等収入	7,873,000	7,084,000	△ 789,000	
1)交付金収入	7,708,000	6,968,000	△ 740,000	市民予算枠事業交付金3,961,000円-464,000円、 地域内分権内推進事業交付金3,747,000円-276,000円
2)受取民間助成金	165,000	116,000	△ 49,000	生涯教育活動 碧海町町内会36,000円、田戸町町内会41,000円、二池町町内会39,000円
3 公共施設利用料収入	400,660	631,970	231,310	
1)施設利用料収入	400,660	631,970	231,310	南部ふれあいプラザ利用料収入 220円 第2プラザ利用料収入 631,750円
4 雑収入	300,000	169,375		
1)受取利息	0	67	67	利息
2)雑収入	300,000	169,308	△ 130,692	コピー代・軽トラ等貸出料
3)前期損益修正益	0	0	0	
経常収入合計	23,077,660	22,192,172	△ 885,488	
II 経常支出の部				
1 事業費	20,807,000	18,538,771	△ 2,268,229	
1)チャレンジの自立支援に関する事業費	541,000	408,365	△ 132,635	事業報告参照[ア]
2)介護予防に関する事業費	664,000	389,431	△ 274,569	事業報告参照[イ]
3)子どもの健全育成に関する事業費	491,000	423,229	△ 67,771	事業報告参照[ウ]
4)地域の防災・防犯に関する事業費	1,580,000	1,015,798	△ 564,202	事業報告参照[エ]
5)公共施設の管理等に関する事業費	16,499,000	15,466,551	△ 1,032,449	事業報告参照[オ]①~④
6)地域資源活用事業費	1,032,000	835,397	△ 196,603	事業報告[カ]
2 管理費	3,585,000	3,783,249	198,249	事業報告[オ]⑤
1)給料手当	720,000	720,000	0	非常勤職員
2)福利厚生費	15,000	0	△ 15,000	
3)会議費	20,000	20,114	114	総会、理事会、役員会など
4)修繕費	200,000	50,820	△ 149,180	軽トラ、ノア修理代ほか
5)旅費交通費	50,000	0	△ 50,000	
6)通信運搬費	10,000	16,172	6,172	切手代
7)消耗品費	350,000	850,277	500,277	事務用品など
8)燃料費	200,000	80,448	△ 119,552	ノア、軽トラガソリン代
9)減価償却費	420,000	394,415	△ 25,585	ハイゼット、ウッドチップパー、草刈り機
10)保険料	350,000	226,398	△ 123,602	自動車保険料、活動保険料
11)諸会費		3,000	3,000	刈谷法人会高浜支部
12)租税公課	600,000	763,400	163,400	消費税、固定資産税等
13)支払手数料	630,000	625,075	△ 4,925	税理士報酬など
14)諸謝金	0	12,000	12,000	1F休業補償
15)雑費	20,000	21,130	1,130	振込手数料など
3 予備費	10,785	0	△ 10,785	
1)予備費	10,785	0	△ 10,785	4/27 追加返金分(総合防災)
経常支出合計	24,402,785	22,322,020	△ 2,080,765	
経常収支差額	△ 1,325,125	△ 129,848	1,195,277	

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
Ⅲ その他資金収入の部				
その他資金収入 計	0	0	0	
Ⅳ その他資金支出の部				
什器備品支出	0	0	0	
その他資金支出 計	0	0	0	
法人税等	0	71,000	71,000	
当期収支差額	△ 1,325,125	△ 200,848	1,124,277	
前期繰越収支差額	3,319,729	3,319,729	0	
次期繰越収支差額	1,994,604	3,118,881	1,124,277	

正味財産増減計算の部	予算額	決算額	差異	備 考
(正味財産増減の部)				
Ⅴ 正味財産増加の部				
1 資産増加額				
1) 当期収支差額	0	0	0	
2) 車両購入	0	0	0	
2 負債減少額	0	0	0	
増加額合計	0	0	0	
Ⅵ 正味財産減少の部				
1 資産減少額				
1) 当期収支差額	3,319,729	200,848	△ 3,118,881	
2) 車両購入代金	0	0	0	
2 負債増加額	0	0	0	
減少額合計	3,319,729	200,848	△ 3,118,881	
当期正味財産増加額	△ 3,319,729	△ 200,848	3,118,881	
前期繰越正味財産額	3,319,729	3,319,729	0	
当期正味財産合計	0	3,118,881	3,118,881	

監 査 報 告

上記の収支決算報告について詳細に監査の結果、適正である事を認めます。

令和4年5月19日

特定非営利活動法人高浜南部まちづくり協議会

監事 江坂 正行 印

監事 高橋 正 印

1. 事業実施の方針

高浜南部まちづくり協議会は、高浜市立港小学校区内の住民や各種団体が互いに協力し、住民相互の連帯感と自治意識の向上を図り、高齢者、チャレンジド(障がい者)、子どもたちを始め、すべての住民が共に支えあい、やすらぎとふれあいのある心豊かな地域共生のまちづくりを目的とする事が設立の理念として示されています。

令和4年度では前年度の課題とした行動の方策を重点に計画を見直し、状況に合わせた方策展開をしていきます。

2. 事業の実施に関する事項

ア チャレンジドの自立支援に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
地域美化活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの地域共生の理解度向上を更に定着するため、プラザ周辺の美化活動を実施する。 ・草刈り、花苗、消耗品等 ・参加者 12回×25名=300名	70,000
就労体験活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの就労支援に向け、プラザ駐車場や階段・トイレの清掃活動を通して就労実習・就労体験を実施する。 ・お茶代、消耗品等 ・参加者 12ヶ月×21日×7名=1,764名	185,000
施設等見学会					*		*		*					先進的事例施設等の視察研修を行い、取り組み状況からスキルアップを目指す。 ・交通費、資料等 ・参加者 3回×2名=6名	60,000
チャレンジド能力向上活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	チャレンジドの能力向上を目的として、実習活動を実施する。 ・実習活動用消耗品等 ・参加者 12回×10名=120名	64,000
自立した施設運営や就労支援のスタッフ研修							*		*					自立した施設運営や就労支援強化に向け、スタッフを対象にした研修会へ参加する。 ・受講料、宿泊費、交通費等 ・参加者 2回×1名=2名	20,000
チャレンジドの「働く」を通じたまちづくり事業												*		チャレンジドの「働く」につながる体験を積み重ねていくための事業。 <チャレンジドパン教室> ・参加者 2回×15名=30名	72,000
				*				*						<保護者支援に関する事業(のりカフェ)> ・講師謝礼、事務費等 ・参加者 2回×10名=20名	
地域の方々とチャレンジドの共生事業												*		チャレンジドの地域交流事業の実施に向けて周知活動及び交流会の実施。 <ポッチャ大会> ・消耗品、会場費等 ・参加者 1回 100名	70,000
				*	*			*	*			*	*	チャレンジドの職域を広げるための研究。 ・参加者 6回×30名=180名	
行事回数: 292回 参加人員: 2,522名														541,000	

イ 介護予防に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
健康体操	8回/月	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	講師による介護予防体操と健康講話を継続する。 ・講師謝礼、器具補充等 ・参加者 80回×12名=960名	300,000
男のレシピ研究会			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	調理を通して参加者のふれあい交流を深める。 ・器具補助等 ・参加者 11回×9名=99名	105,000
認知症サポーター養成講座										*	*	*		各町内会・小学校等を対象に認知症サポーター養成講座を実施する。 ・啓発用資料、消耗品等 ・参加者 3回×30名=90名	20,000
宅老所訪問による介護予防活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	宅老所利用者に対し介護予防のために食事支援する。 ・消耗品等 ・参加者 12回 300名	25,000
要援護者支援 (H30年度より地域の防災防犯に関する事業から移行)		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	声かけ、見守り地域活動の重点展開を行う。また、地区内の要支援者を調査し、有事の際の要支援者の人数、位置、支援内容の把握に利用する。 ・調査、訪問活動、消耗品等 ・対象者12回×15名=180名	164,000
生涯現役のまちづくり活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	生涯現役のまちづくり活動事業として、青空市等において活動メニューを実施する。 ・資料、調査、消耗品等 ・参加者 120回×10名=1,200名	50,000
スマホ・タブレット等情報通信機器活用事業							*				*			高齢者に対して、スマホやタブレットなどの情報端末機器の使い方講座を実施する。 ・参加者 2回×5名=10名	10,000
														行事回数: 240回 参加人員: 2,839名	674,000

ウ 子どもの健全育成に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
子どもの居場所づくり	360日開放		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	就学前の児童の遊び場や親同士の交流を推進し、子育て支援の場を整備、提供する。 ・支援者謝礼、玩具の補充等 (コミュニティスペース・談話室)	24,000
親向け講座				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	アロマクラフト、コアリズムなど親向け講座を開催する。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 5回×8名=40名	53,000
子ども向け講座				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	工作や子ども料理など子ども講座を継続する。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 4回 40名	35,000
季節特別講座				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	夏休み・冬休みにさんすう塾・書道講座などを開催する。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 7回×10名=70名	20,000
親子ふれあい講座				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	竹細工で虫やフレームなど親子向けの講座を実施し交流を図る。 ・講師謝礼、消耗品等 ・参加者 1回×15名=15名	3,000
ものづくり講座										*	*	*	*	凧作り・ワラのほうきなど、ものづくり講座を継続する。 ・講師謝礼、材料、消耗品等 ・参加者 2回×15名=30名	13,000
子どもの健全育成活動補助		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	地域の団体と協働で健全育成に対し支援を図る。 ・啓蒙活動品、消耗品等 ・支援団体 キッズクラブ、ラビットホーズ、おやじの会	133,000
青少年の非行防止活動												*	*	講演会及び地域の親、教師向け講座を実施する。 ・講師謝礼、交通費、消耗品等 ・参加者 1回×300名=300名	150,000
子どもの明るい未来を支援する活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	子どもの健全育成に関する活動に参画する。 ①「ステップJr.」の学習項目支援(ものづくり等)(2回=20人) ②「ステップ」の昼食支援及びイベント支援(6回=120人) ③夕食支援の継続(24回=345人) ・参加者 32回=485名	0
														行事回数: 52回 参加人員: 980名	431,000

エ 地域の防災防犯に関する事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
個別防災訓練									*	*				親子を対象に体験型の防災訓練を継続して実施する。 実施先:名古屋市港防災センター ・交通費、消耗品等 ・参加者 2回×60名=120名	240,000
総合防災訓練							*							総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。 ・高浜市総合防災訓練 ・参加者 1回×250名=250名	84,000
防災倉庫管理							*					*		港小学校、南中学校の資機材倉庫内機材の管理及び試運転等を行う。 ・2ヶ所(港小学校・南中学校) ・参加者 2回×2ヶ所×3名=12名	30,000
3町内会防災力向上勉強会				*			*		*					3町内会毎に、理事及び班長を対象に防災勉強会を開催する。 また、南部第2ふれあいプラザにて避難所運営、クロスロードゲームを対象に防災訓練を行う。 ・防災体験用品、消耗品等 ・参加者 3町×計3回=230名 (田戸80名、碧海30名、二池120名)	128,000
青色防犯パトロール	4回/週		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	青色回転灯装備車による防犯パトロールを継続する。 毎週火曜日は昼の時間帯にてパトロールを実施する。 ・ガソリン代、車輛整備点検等 ・参加者 350名 週4回(160回/年)	459,000
子どもの安全見守り				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	下校時や夜間の見回り「子ども110番の家」との連携など。 ・啓発用資料、消耗品等 ・のぼり交換等 2回 15名 ・パトロール等 48回 96名 ・下校時見守り 150回×2ヶ所×1名=300名	320,000
防犯灯管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	港小学校区内の防犯灯の球切れの取り次ぎや修理依頼などを行う。 ・修理、球交換等	320,000
行事回数: 368回 参加人員: 1,373名														1,581,000	

オ 公共施設の管理等に関する事業

オー① 公園管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
公園定期管理		*		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	碧海公園、洲崎公園、外淵公園の定期清掃と管理を行う。 ・修理、消耗品、謝礼チケット等 ・2回/月×15名=330名×3公園=990名 計66回	2,140,000
町内の公園 まつり盛り上げ													*	公園まつりで地域コミュニケーション広場の活用を支援。 ・3月(碧海公園) =参加者250名	50,000
稗田川堤防 環境管理			*		*					*				稗田川堤防の論地橋から外淵橋までの二池町側堤防の草刈等環境維持管理をする。 ・参加者 3回×10名=30名	142,000
行事回数: 70回 参加人員: 1,270名														2,332,000	

オー② ふれあい福祉農園管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
ふれあい福祉 農園管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	南部保育園、南部幼稚園の園児と共に農園管理を行い高齢者と、幼児のふれあいの場を作る。 <圃場整備と日々管理> 水やり、草取り、追肥、作物の手入れ ・5、11月 耕運、漉込み(堆肥、石灰、肥料)、燃料 ・5、6、7、8、9、10月 除草、追い肥、水やり等 ・参加者 12ヶ月×6回×3名=216名	62,000
			*	*			*	*				*		<植付け>種、苗他 ・5月 サツマイモ、ミニトマト、ナス ・6月 薩摩芋、落花生 ・9月 大根・10月 玉ねぎ・2月 じゃがいも ・参加者 5回×30名=150名	
			*		*	*		*				*	*	<収穫> ・5月 たまねぎ、じゃがいも ・7、8月(ナス、ミニトマト、トウモロコシ) 6回×25名=150名 ・10月(薩摩芋、落花生) 3回×30名=90名 ・1、2月(大根) 3回×30名=90名	
行事回数: 89回 参加人員: 696名														62,000	

オー③ プラザ、第2ふれあいプラザ

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
事務管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	事務業務の精度向上による運営の効率化。 ・保険、租税公課、会議費、事務消耗品等	1,800,000
事務活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	広報の強化。 ・行政他、連絡・調整(講習、見学対応) ・各事業サポート、会議費等 ・広報グループ費用(写真、印刷)等	
施設管理		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・事務、人件費(プラザ管理人:6人、第2管理人:6人) ・設備点検、清掃、メンテナンス、光熱費、保険等	12,134,000
運営活動		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・放課後の子どもの居場所提供 ・各種会議への会場提供	100,000
プラザ利用者 12,500人 第2利用者 12,500人															
合計														14,034,000	

オ-④ 図書管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
図書管理	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	・本の入替 3回/年、読書啓発、蔵書の整理	0
合計														0	

オ-⑤ まち協事務管理

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
事業管理	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	事務業務の精度向上による運営の効率化。 ・保険、租税公課、会議費、事務消耗品等	4,110,000
事務局活動	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	TAF-netの発行を含め広報の強化。 ・行政他、連絡・調整(講習、見学、取材対応) ・各事業サポート、会議費等 ・広報グループ費用(写真、印刷)等	150,000
合計														4,260,000	

カ 地域資源活用事業

(単位:円)

項目	活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	内容・予算	金額
地域資源活用活動						*	*	*	*	*			*	地域資源の魅力を理解し、活用を図り地域の活性化を目指す。 川まつり、シルバーフェスタ、第2プラザ文化展等 ・材料、消耗品、その他 ・参加者 6回 900名	110,000
					*				*	*				文化、伝統伝えたい活動 ・参加者 6回 410名	145,000
				*	*	*			*	*			*	かわらパーク製作維持(洲崎公園内) ・材料、機械借用、その他 ・参加者 7回×4名=28名	80,000
													*	豆まき祭 ※コミュニティビジネスより支出 ・資材、豆等 ・参加者 1回×150名=150名	0
		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	コミュニティビジネス(小規模土木工事) 10件 ・資材、器械借用費、その他	交付金対象外 70,000
生涯教育活動 (社会教育推進事業)				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	まちづくりの見地から、社会教育活動を考え、南部第2ふれあいプラザをその実現の場として有効活用していく。 ・参加者 20回/年1,000名	497,000
行事回数: 50回 参加人員: 2,488名														902,000	

第4号議案

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(案)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 高浜南部まちづくり協議会
(単位:円)

資金収支の部

科 目	金 額		備 考
I 経常収入の部			
1 事業収入		14,151,000	
1) 介護予防に関する事業収入	20,000		前年度参考
2) 子どもの健全育成に関する事業収入	17,000		前年度参考
3) 地域の防災・防犯に関する事業収入	10,000		前年度参考
4) 公共施設の管理等に関する事業収入	14,034,000		南部ふれあいプラザおよび第2プラザ管理受託収入14,034,000円
5) コミュニティービジネス収入	70,000		小規模土木工事実施収入 70,000円
2 補助金等収入		7,972,000	
1) 交付金収入	7,856,000		市民予算枠3,687,000円 地域内分権推進事業 4,169,000円
2) 受取民間助成金	116,000		生涯教育活動 碧海町町内会36,000円、田戸町町内会41,000円、二池町町内会39,000円
3 公共施設利用料収入		550,220	
1) 施設利用料収入	550,220		第2プラザ利用料収入550,000円 南部ふれあいプラザ利用料収入220円
4 雑収入		150,000	
1) 雑収入	150,000		コピー代、軽トラ等貸出料
経常収入合計			22,823,220
II 経常支出の部			
1 事業費		20,557,000	
1) チャレンジの自立支援に関する事業費	541,000		事業計画参照[ア]
2) 介護予防に関する事業費	674,000		事業計画参照[イ]
3) 子どもの健全育成に関する事業費	431,000		事業計画参照[ウ]
4) 地域の防災・防犯に関する事業費	1,581,000		事業計画参照[エ]
5) 公共施設の管理等に関する事業	16,428,000		事業計画参照[オ]①～④
6) 地域資源活用事業	902,000		事業計画参照[カ]
2 管理費		4,260,000	
1) 給料手当	720,000		事業計画参照[オ]⑤ 非常勤職員
2) 福利厚生費	15,000		前年度参考
3) 会議費	25,000		総会、理事会、役員会など
4) 修繕費	200,000		補修ほか
5) 旅費交通費	50,000		出張旅費など
6) 通信運搬費	20,000		切手・はがき代など
7) 消耗品費	800,000		事務用品、コピー代など
8) 燃料費	200,000		ガソリン代など
9) 減価償却費	420,000		ハイゼット、ウッドチップパー、草刈り機
10) 保険料	350,000		自動車保険料、活動保険料など
11) 租税公課	800,000		消費税、固定資産税等
12) 支払手数料	630,000		税理士報酬など
13) 雑費	30,000		振込手数料など
3 予備費		1,125,101	
1) 予備費	1,125,101		
経常支出合計			25,942,101
経常収支差額			△ 3,118,881
前期繰越金			3,118,881
差引			0

※科目間の費用の流用を可とする。但し、理事会の承認を要する。

定款変更（案）

変更前	変更後
<p>(事業)</p> <p>第5条</p> <p>(1) チャレンジドの自立支援に関する事業</p> <p>(2) 介護予防に関する事業</p> <p>(3) 子どもの健全育成に関する事業</p> <p>(4) 地域の防災・防犯に関する事業</p> <p>(5) 公共施設の管理等に関する事業</p> <p>(種別及び定数)</p> <p>第13条</p> <p>(1) 理事 <u>15人以上40人以内</u></p> <p>(招集)</p> <p>第26条</p> <p>3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。</p> <p>(表決権等)</p> <p>第30条</p> <p>2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>(議事録)</p> <p>第31条</p> <p>(2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。）</p> <p>2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。</p>	<p>(事業)</p> <p>第5条</p> <p><u>追</u> (6) <u>地域資源活用に関する事業</u></p> <p>(種別及び定数)</p> <p>第13条</p> <p><u>変</u> (1) 理事 <u>10人以上20人以内</u></p> <p>(招集)</p> <p>第26条</p> <p><u>変</u> 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法（電子メール）をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。</p> <p>(表決権等)</p> <p>第30条</p> <p><u>変</u> 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法（電子メール）をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>(議事録)</p> <p>第31条</p> <p><u>変</u> (2) 正会員総数及び出席者数（書面又は電磁的方法（電子メール）による表決者又は表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。）</p> <p><u>変</u> 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名又は記名、押印しなければならない。</p>

(招集)

第 35 条

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(表決権等)

第 38 条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

(議事録)

第 39 条

(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあつては、その旨を付記すること。)

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印しなければならない。

(事業報告及び決算)

第 47 条

3 貸借対照表の揭示

ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人の主たる事務所の揭示場に提示して行う。

(招集)

第 35 条

変 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法(電子メール)をもって、少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(表決権等)

第 38 条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

変 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法(電子メール)をもって表決することができる。

(議事録)

第 39 条

変 (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面又は電磁的方法(電子メール)による表決者にあつては、その旨を付記すること。)

変 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名又は記名、押印しなければならない。

(事業報告及び決算)

第 47 条

←左記の第 47 条 3 は、下記の「第 54 条 公告の方法」の内容と重複するため今回、削除

(公告の方法)

第 54 条 この法人の公告は、この法人の揭示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人の主たる事務所の揭示場に提示して行う。

追 附則

この定款は、令和 4 年 5 月 29 日から施行する。

第6号議案

令和4年度理事・監事選任（案）

（順不同 敬称略）

	氏名	役職
1	水野輝久	理事
2	前沢一則	理事
3	水野厚也	理事
4	福島伸一郎	理事
5	神谷義國	理事
6	都築英補	理事
7	榊原四三吉	理事
8	清水恵子	理事
9	牧野和博	理事
10	神谷伸一	理事
11	田代清一	理事
12	門脇亮也	理事
13	神谷美百合	理事
14	角谷國晴	理事
15	神谷環光	理事
1	江坂正行	監事
2	高橋 正	監事